

令和 3 年度事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

学校法人東海医療学園の令和 3 年度事業を報告する。

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 1. 基本方針 | 健康を支える人づくり |
| 2. テーマ | 東海医療学園のブランド力を高める |
| 3. 重点目標 | 1) 魅力ある学校づくり
2) 地域貢献
3) 運営基盤の強化 |

1) 魅力ある学校づくり

(1) 教育理念・目的・人材育成像の明確化と共通理解

(2) 学校運営

① 理事会・評議員会、学校運営会議等開催

本学園の業務執行に関する重要事項について、理事会、評議員会を開催したこと。

・理事会

開催日	議事等
令和 3 年 5 月 24 日	令和 2 年度事業報告、決算・監査報告など
令和 4 年 3 月 17 日	令和 3 年度事業計画、予算案 など

・評議員会

開催日	議事等
令和 3 年 5 月 24 日	令和 2 年度事業報告、決算・監査報告など
令和 4 年 3 月 29 日	令和 3 年度事業計画、予算案 など

② 学校関係者評価委員会を開催。問題点の把握、改善等の実施と、その結果についてホームページ等で公表を行った。

③ 学則、就業規則等の諸規程の整備・見直しを行い、教職員の労働時間や有給休暇の取得等の適正化を行った。

(3) 教育活動

① 新型コロナウイルスの影響もあったが、授業や実習については静岡県での感染動向に注視しつつ、全て対面授業として実施したこと。

② 職業教育の質を高めるため、定期的なカリキュラム会議、職能団体や関連企業の役員、有識者等による年 2 回の教育課程編成委員会（令和 3 年度は 7/13、11/9）を開催したこと。

- ③ 分かりやすい授業への取組みとして、教育活動の自己点検・評価を推進、個々の教員による自己点検、学生による授業評価、校長による授業参観等による授業の改善向上に努めた。
- ④ 教職員の資質向上のための学内外における研修等へ参加したこと。
- ア. 6/4（金）～6/6（日）に福岡で開催された、（公社）全日本鍼灸学会第70回学術大会への参加したこと。（リモート開催）
- イ. 8/19（木）、8/20（金）に、大阪（主管校：東洋医療専門学校）で開催された（公社）東洋療法学校協会第44回教員研修会へ参加したこと。
（本校はリモート参加）
- ⑤ 進級率・卒業率の向上、国家試験・AT認定試験の合格率向上を目指し、指導を行ったこと。
- ア. 国家試験合格率は、あん摩マッサージ指圧師が100%、（25名中25名合格）、はり師、きゅう師とも95.8%（24名中23名合格）であった。（新卒者のみ）
- イ. 中途退学の防止に対しての取組みを行ってきたが、令和3年度は2名の退学者（2年生1名、3年生1名）があった。
- ウ. 休学者は5名（1年3名、3年2名）。主たる理由は、体調不良、家庭の事情等であった。
- エ. 原級留置者は2名（3年生2名）。理由は成績不良であった。
- オ. 新入生プレスクール（入学前教育を3月に2回実施した）。
- ⑥ その他の教育活動として以下のことを行ったこと。
- ア. 10/6に開催された、東洋療法学校協会第42回学術大会（愛知）に参加し、学生発表の指導を行った。
- ⑦ 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー認定試験について、令和3年度理論試験合格者はいなかった。
- ⑧ 卒業生を対象に卒後臨床専攻コースを開講したこと。令和3年度受講者は6名。
- ⑨ 自己点検・評価及び学校関係者評価
令和2年度学校運営、教育活動等について、自己点検・評価を実施し学校関係者による評価を行う。最終的に報告書にまとめ、ホームページ等で公表した。

（4）学生支援

- ① 進路支援として以下のことを実施した。
- ア. 担任、就職担当者と連携し個別相談。
- イ. 外部講師による就職セミナーの開催（7/20）
- ウ. 求人先を招聘しての就職ガイダンスの開催（11/19）
コロナ禍の中で例年より規模を縮小し開催した（参加事業所等 28件）

- ② 学生、教職員の健康管理として以下のことを行った。
- ア. 学校保健安全法に基づく学生および教職員の健康診断の実施（5/19）
 - イ. B型肝炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス等感染症の予防に努める。
 - ウ. 臨床心理士協力のもと、1年生に対し「健康チェック」を実施。学生の心身の状態を把握し、早期対応に努めたこと。
- ③ 学校生活、学費面での支援や相談を行ったこと。
- ア. 臨床心理士による「学生相談室」の継続。
 - イ. 学費面での支援として、以下の制度の利用紹介、対応を行った。
 - （ア）日本学生支援機構奨学金
 - （イ）専門実践教育訓練給付金
 - （ウ）高等教育の修学支援新制度
 - （エ）国の教育ローン等、一般の奨学金以外の融資情報
 - （オ）校友会奨学金制度
 - （カ）納付金分割などの対応

（5）教育環境の整備

- ① 1号館1、2階のトイレの改修を行った。
- ② 教務課、事務課のエアコンの入替を行った。
- ③ 動画教材の視聴用等のため、モニターを購入し実習室に設置した。
- ④ その他、図書や備品の充実を図った。

2）地域への貢献

地域の保健医療の一翼を担うべく、以下のとおり東洋療法の普及啓発並びに臨床センターのPRに努めた。

- (1) 例年参加しているイベント（熱海市社会福祉協議会主催「福祉まつり」、国民体育大会等）は、新型コロナウイルスの影響で令和3年度も中止となった。
- (2) 小田原アリーナで開催されている「全国定時制高校バドミントン大会」は開催され、ATコースの学生が中心となり4日間大会のサポートを行なった。また、近隣高校の部活動の現場実習も実施できた。
- (3) 7月に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害において、災害支援チームであるDSAM（ディーサム：Disaster Support Acupuncture Massage Joint Committee）、静岡県鍼灸マッサージ師会、静岡県鍼灸師会と協力し、熱海市の消防隊員に対する支援として鍼灸マッサージ施術を行った。

3）学校運営基盤の強化

（1）定員充足率100%に向けた広報・募集活動

- ① ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、Twitter、LINE）等を利用して情報発信を行った。

② オープンキャンパス、学校説明会等の実施

学校、分野理解を主なテーマとし、志願者の増加を目的とした、実技体験を含む「オープンキャンパス」、入試対策を交えた「高校生対象学校説明会」、社会人向けの「夜間時間帯の学校説明会」を柱として開催した。

名 称	開 催 日
オープンキャンパス 13：00～15：30	5/9(日), 6/13(日), 7/11(日), 8/7(土), 8/22(日), 9/5(日)、 11/7(日), 12/5(日), 1/30(日), 2/20(日), 3/21(祝)
高校生対象入試説明会 10：30～12：00	4/25(日), 5/29(土), 6/27(日), 7/17(土), 8/12(木)
夜間の学校説明会 18：30～20：00	6/18(金), 7/21(水), 8/31(火), 9/17(金), 10/8(金), 11/26(金) 1/14(金), 2/4(金), 3/2(火)

③ 進学相談会への参加

業者等主催の会場形式及び高等学校内の進学相談会に積極的に参加した。但し、コロナウィルス感染症の影響で、前期（4～8月）は中止になるケースが多く、参加実績は令和2年度の5割程度であった。

④ 受験雑誌、学会等媒体へ広告掲出を行い、学校の認知、資料請求者数の増加を図ったこと。

ア．リクルート、マイナビなど、高校生向けの受験雑誌媒体への広告掲出。

イ．学会誌、業界誌等への広告を掲出。

ウ．駅看板広告を設置。JR 沼津駅北口コンコース、伊豆箱根鉄道大場駅、小田原駅に掲出。

⑤ 高校訪問については、コロナウィルス感染症の影響で高校側の受入不可なども多く、訪問高校も限定された。

⑥ 卒業生との連携による広報

ア．卒業生紹介制度の継続

校友（卒業生）からの学生紹介制度を継続して実施した。紹介者には謝礼として2万円の商品券を贈呈。また、該当入学者には教科書、実習費から5万円分減免という対応を行った。

イ．卒業生の開業先の紹介

卒業生の開業治療院等の紹介ページを作成し、継続してホームページにて公開したこと。